

キャラクター名 鬱見 信 (うつみ しん)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	バロール ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	中学生
	オプション		年齢	13歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	33	%
出自	親の理解	経験	UGNへの畏怖	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	49
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	3	1	0			4	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	7r+6		6		
100	RC	8r+6		6		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
亜純血	P	N			
家族	P 幸福感	N 不安			
真咲 悠佑	P 連帯感	N 嫉妬			
ストーングレイヴ	P 同情	N 嫌気			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
加速装置	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: EA38、そのラウンド間の行動値+[Lv×4]								
雷神の槌	4	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: EA41、攻撃力+6、同エンゲージ不可。								
雷の剣	1	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果: HR77、攻撃力+5、同エンゲージ不可を可能にする。								
雷鳴の申し子	1	5	メジャー	-	-	対決	Dロイス	
効果: EA42、攻撃力+[最大HP-現在のHP]する。メインプロセス終了後HPOになる。								
グラビティテリトリ	3	基+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果: HR77、最大HP+[Lv×7]侵蝕率でレベルアップしない。								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: HR77、判定ダイス+Lv								
屑鉄の橋	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: EA35、ゴミで足場を作る。								
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: EA133、料理を耐える								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 僕 二人称: 君
口調: 敬語、ちょっと毒舌?、内向的で静か

僕は選ばれなかった。

2年ほど前に覚醒した小学生エージェント。その後紫藤支部へとやってきて、力の制御を学びつつエージェントとして働いている。小学生が働くってどうなの?とは思いますが、一人でこのままいて何かに巻き込まれたら困るので所属している。支部では一人静かに本を読んだりしている。覚醒してまだ少ししか経ってないから、力の制御がまだうまくできず、大きな力を使うと倒れてしまう。物静かで内向的だが、生意気な一面もあり、敵に対して煽ったりする。その際よく選択を迫ることがある。結核晶の作る料理を食べることが可能のため、支部員にその料理を回されたりする。

ヒヤシンスの花言葉……紫「悲しみ」「悲哀」「初恋のひたむきさ」、黄「あなたとなら幸せ」「勝負」

PC④用ハンドアウト
ワークス/カヴァー: UGNエージェント/指定なし
ロイス:ストーングレイヴ 推奨感情:好奇心/脅威
市内のバトル中、キミはFHセル"ジュエラー"のセルリーダーであるストーングレイヴに強襲を受ける。恐ろしい破壊力、それに加え奇襲ということも相まり、キミは為す術なく倒れ伏す。キミを見下ろし下卑た笑いを浮かべた彼の胸元には、黒い結晶が鈍く輝いていた。